

わたしたちの藤岡市

藤岡市の施設

藤岡市役所



藤岡市役所は、本庁舎・保健センター・福祉会館・防災センター・教育庁舎・鬼石総合支所に分かれています（左写真は本庁舎）。本庁舎は、昭和42年10月に現在の中栗須327番地に建設されました。

鬼石総合支所



平成18年1月1日に鬼石町と合併したことにより、藤岡市の組織に鬼石総合支所が加わりました。鬼石総合支所は、より良いまちなかの環境づくりのため、平成28年（2016年）3月、多目的ホールに隣接した新庁舎に移転しました。

複合施設ふじまる



図書館や子育て・健康センター、多目的ホール、プレイルームなどを1つに集めた複合施設として令和7年（2025年）10月にオープンしました。世代を超えて触れあい、学び、楽しみ、心地よく過ごせる空間が広がります。

庚申山総合公園



昭和58年（1983年）に開催されたあかぎ国体のサッカーメイン会場として整備されました。公園内にはミニ遊園地やミニ動物園などの娯楽施設、自然散策に最適な遊歩道、スポーツ施設があります。

ららん藤岡



ららん藤岡は、上信越自動車道・藤岡インターチェンジに隣接する、藤岡の玄関口となる道の駅です。観光案内所や農産物直売所、レストランなどの多彩な店舗が充実し、休日は多くの家族連れなどで賑わいます。

みかばみらい館



平成7年（1995年）2月に群馬県の県有施設としてオープンしました。平成21年に藤岡市に移管となり、年間40回以上の催し物やコンサートで利用されています。市内小中学校の合唱発表会や文化祭でも利用されています。大ホールや小ホール、ギャラリー、研究室などのほか、プラネタリウムがあります。

藤岡市の歴史・文化

高山社跡



高山社は、養蚕法「清温育」を全国に広めるためにつくられた教育機関です。平成26年（2014年）6月25日に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の1つとして、世界文化遺産となりました。

高山社情報館



高山社跡のガイダンス施設として、平成28年（2016年）4月8日に開館しました。高山社の組織や藤岡地域の養蚕についての資料等を展示・解説しています。

土師の辻



本郷にある土師神社（どじんじや）は、相撲の元祖としてたたえられている「野見宿禰（のみのすくね）」を祀っています。境内には「土師の辻」と呼ばれる高さ1.6m、下部径13m程の伏せたすり鉢状の相撲辻（土俵）があります。江戸時代にはこの土俵で出世力士による披露相撲が行われたといいます。

藤岡まつり



藤岡の市街地で開催される、市民参加型の夏祭りです。子どもみこしや大人みこし、市民パレードや13台の山車が巡行する祇園山車行進など、様々なイベントが2日間にわたって開催されます。

鬼石夏祭り



江戸時代後期に始まった、鬼石市街地を5台の山車が巡行する歴史ある夏祭りです。坂道で山車を一気に引き上げる「新田坂の駆け上がり」と、5台の山車が一堂に会してお囃子を競演する「寄り合い」が見所となっています。

藤岡市の自然

竹沼

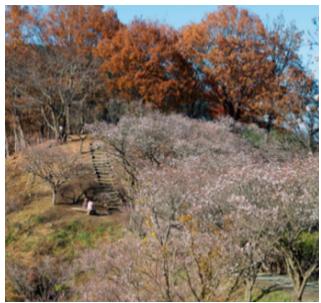


三波石峡



下久保ダム直下の渓谷に約 1.5 km にわたり巨岩・奇岩が並び、国の名勝及び天然記念物に指定されています。三波石は青味の中に水で洗われた石英が白く浮き出た美しさが特徴で、古くから庭石として全国的に有名です。

桜山



明治 41 年（1908 年）日露戦争の戦勝記念として旧三波川の山中に植栽され、その一部が冬に開花するようになりました。昭和 12 年（1937 年）に国の名勝及び天然記念物に指定されました。しかし、昭和 48 年（1973 年）に、近くで発生した山火事により約 1,000 本の冬桜が消失してしまいました。その後、関係者の努力により植樹が続けられ、今では約 7,000 本の冬桜が 10 月から 12 月にかけて可憐な白い花を咲かせます。

蛇喰渓谷



日野の山間に流れる鮎川は、三波川変成帯の結晶片岩地域で低温高圧型の広域変成岩が露出し、川の清流により長い年月を経て岩が削られ約 200m にわたり見事な渓谷美を見せています。昔からの伝説では、村人に弓で射られた大蛇が鮎川に落ち、この場所で岩を食べながら七日七晩傷を癒したと言われています。

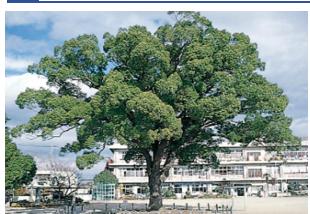
市の木・市の花

モクセイ



モクセイは昔から愛されている木で、香りの花とも呼ばれ、庭園にも街路樹にも適することから、市の木に決定されました。市役所入り口にも大きなモクセイの木があります。

クスノキ



クスノキは本市周辺が北限であり、その姿は力強く高貴と言われています。藤岡市では記念樹として昔植樹したものが多く、街のシンボルとなっています。中央公園や美九里東小学校にも大きなクスノキがあります。

スギ



旧鬼石町のまちの木です。合併により市の木になりました。旧鬼石町は山々に囲われ、林業が盛んであったことから制定されました。

フジ



藤岡市の地名をはじめ、学校の校旗等にも使われています。ふじふれあい館や庚申山総合公園など、市内の公園や公共施設、学校などで見られます。

サルビア



サルビアは明るく、長持ちする花で栽培がしやすく開花期間が長いのが特徴です。

冬桜



明治 41 年（1908 年）日露戦争の戦勝記念として旧三波川の山中に植えられ、その一部が冬に開花するようになりました。昭和 12 年（1937 年）、国の名勝及び天然記念物に指定され、平成 18 年の合併により、旧鬼石町のまちの花から、藤岡市の市の花となりました。

*市の木・市の花

歴史に培われた市の象徴となる木や花を選定するため、市民からの公募で昭和 54 年 4 月 1 日に制定されました。